

事業所名

児童発達支援・放課後等デイサービス
アトリエさくら（保育所等訪問支援）

支援プログラム（参考様式）

作成日

2026年

4月

9日

法人（事業所）理念		<ul style="list-style-type: none"> ・みんなと違って一緒になくてもいい。 ・苦手なことがあっても大丈夫、それも自分の個性と思うことができるように寄り添います。 ・子どもと親の笑顔と自分を好きな気持ちを育てます。 						
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもを集団生活に無理に合わせるのではなく、子どもの特性に配慮した環境調整を大切にする。 ・保育所、幼稚園、認定こども園、学校等で、子どもが安心して過ごし力を発揮できるよう支援する。 ・保護者、訪問先職員、関係機関との連携により、子どもの育ちを一体的に支える。 ・小さな成功体験を積み重ね、自信と自己肯定感につながる支援を行う。 						
営業時間		9時	0分	18時	0分	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容								
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・園や学校等での生活リズム、身辺自立、食事、排泄、休息、授業の状況を把握する。 ・安心して過ごせる生活環境や日課づくりについて、訪問先と一緒に検討する。 ・生活場面で必要な支援方法を具体的に助言する。 						
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・集団生活の中でみられる姿勢、身体の使い方、不器用さ、感覚特性をアセスメントする。 ・活動参加しやすくなるよう、座位姿勢、道具の使い方、環境設定について助言する。 ・必要に応じて作業療法士等の視点を活かし、具体的な支援方法を提案する。 						
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動での見通しの持ちにくさ、切り替えの難しさ、こだわり等について背景を整理する。 ・活動手順、視覚支援、席配置、課題量の調整など、実行しやすい環境づくりを支援する。 ・困り行動の予防と適切行動の形成に向け、訪問先職員へ助言する。 						
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・ことばの理解や表出、友だちや先生とのやりとりの様子を把握する。 ・必要に応じて、ことばや発達の検査、個別課題を実施する。 ・声かけの工夫、伝わりやすい指示、意思表示を促す関わりを提案する。 						
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・集団の中での関わりを見守り、必要に応じて自然な形で支援に入る。 ・友だちとの関係づくりや活動参加が円滑になるよう支援する。 ・安心できる関係を基盤に、集団場面での成功体験が増えるよう支援する。 ・園や学校等の職員と連携し、子どもに合った関わり方を一緒に考える。 						
家族支援		<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの園・学校での様子や支援内容をわかりやすく伝える。 ・家庭での接し方や関わり方について助言する。 ・保護者と訪問先との距離が縮まり、子どもの成長をともに喜び合える関係づくりを支援する。 			移行支援		<ul style="list-style-type: none"> ・進級や進学などの移行先に向けた調整や情報共有、受け入れ体制づくりを行う。 ・進路や移行先の選択に関する本人や家族への相談援助を行う。 	
地域支援・地域連携		<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の保育士・先生と支援方針を共有する。 ・支援内容や記録を関係者と共有し、連携を大切にする。 ・必要に応じて相談支援専門員、医療機関、他事業所等と情報連携を行う。 ・集団生活や活動手順等について、子どもの特性に配慮した支援方法を一緒に整える。 			職員の質の向上		ケースカンファレンスで疑問点や支援の確認を行う。事業所内外の研修を通して療育の本質を学習していく。	
主な行事等		<ul style="list-style-type: none"> ・原則として行事設定は行わず、訪問先での生活場面・行事参加場면을支援の機会とする。 ・必要に応じて、園行事や学校行事における参加支援・環境調整を行う。 						